

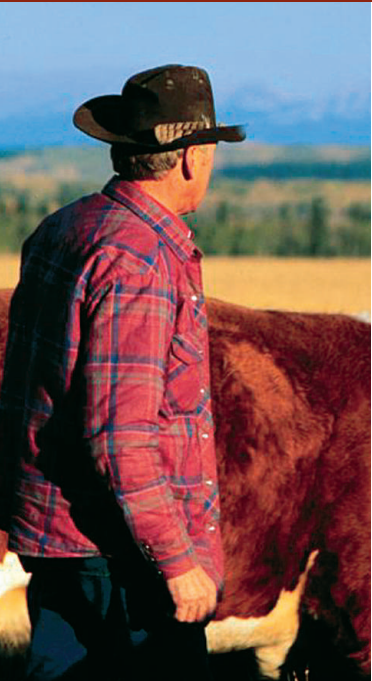
アルバータ州の牛肉

アルバータ州には数多くの肉牛専門生産者がおり、生産量はカナダで最大です。約500万頭の牛および子牛を生産し、カナダの全生産量の約40%を占めています。





アルバータ州の畜産は、長く豊かな歴史を誇っています。1874年に最初の牛が州に持ち込まれ、カナディアンロッキーの山麓で数多くの牧場の建設が始まりました。アルバータ州の畜産の伝統を支えてきたのは、まさに生産者です。品質への真摯な取り組みは、現在のアルバータ州の牛肉産業の礎となっています。



優れた食味のアルバータビーフ

アルバータ州は、おいしい牛肉の生産地として世界的に知られています。穀物飼育されたアルバータ州の牛は食味が良く、鉄分、亜鉛、タンパク質、ビタミンB類などの栄養素を豊富に含んでいます。

カナダの牛肉は、国が定めた基準に基づいて格付けを行い、グレードごとの品質の一貫性と予測可能性を高く維持しています。カットされた牛肉は最低脂肪交雑基準により、カナダプライム（やや多め）、カナダAAA（少ない）、カナダAA（わずか）に分類されます。カナダAは若い牛から取れる牛肉で、脂肪交雑はありますが「わずか」よりも少ない量になっています。

アルバータ州は環境に恵まれ、水質も良く、気候も畜産に適しています。さらに、比較的若い牛を牛肉として出荷していることから、高品質、柔らかい、ジューシー、食味が良いといった特徴で知られています。

アルバータ州の肉牛

アルバータ州の肉牛の大半は、優れた特徴や品質を持つヨーロップ種を選び、ていねいに交配して生まれたものです。交配に使われる主な品種はブラックアンガス、ヘレフォード、レッドアンガス、シンメンタール、シャロレー、リムーザンなど、脂肪交雑が最適で、枝肉歩留まり率の高い品種です。

肉牛の交配はカナダ連邦の「動物血統法」による承認を受けています。交配団体はいずれも、加盟者のために登録業務を行い、遺伝子改良のためのプログラムを実施することが義務付けられています。

カナダ各地の学術機関や政府機関に設置された研究所では、肉牛の遺伝子を研究し、消費

者や生産者から高い評価を得られるよう形質を改善しています。

高品質な飼料

アルバータ州の肉牛飼育で使う飼料は、牧草や粗飼料を基本としていますが、最終肥育には穀物（大麦、小麦、トウモロコシ）をベースにした飼料を使います。一般的に大麦サイレージで増量した大麦粒が大半を占めます。こうした穀物ベースの配合飼料を使うことにより、香りと食感に優れた高品質な牛肉に仕上がります。

牧草や粗飼料は、飼料として消費されることが用途の大部分（80%）を占めていますが、それだけではなく、アルバータ州の優れた環境の維持に重要な役割を果たしています。牧草の栽培は土壌、水、空気の質を大きく向上させます。そうした役割を果たした後の牧草を肉牛の生産に使っています。これは人間が食べられない植物をおいしい牛肉に転換させるという、大変優れた方法です。

アルバータ州には豊かな農地が広がり、飼料用穀物の生産量はカナダ最大です。アルバータ州では大半の肉牛を60～200日間飼料肥





育しますが、飼料の配合で最も多くを占めるのが、州内産の高品質な大麦です。アルバータの穀物で育った肉牛は、柔らかさと香りの高さが有名で、白い脂肪の色も好まれています。

近くのロッキー山脈から流れてくる雪解け水は、かんがい用水として広く使われていますが、この水は質がいいだけでなく、大気の湿度を理想的に保ち、健康な穀物飼料の生育に役立っています。またアルバータは冬の気温が低いため、他の牧草地域で多く発生する虫や病気も少なく抑えられています。このように健康的な飼料と清潔で新鮮な水に恵まれているため、アルバータ州の穀物肥育牛は世界屈指の味と安全性を実現できるのです。

カナディアン・ビーフ・センター・オブ・エクセレンス

カナダディアン・ビーフ・センター・オブ・エクセレンスの所在地はアルバータ州です。このセンターは新商品の試験販売、消費者やバリューチェーン参加者からのフィードバック収集などを通じて、業界を支援することを目的に設立された最新の施設です。カナダの

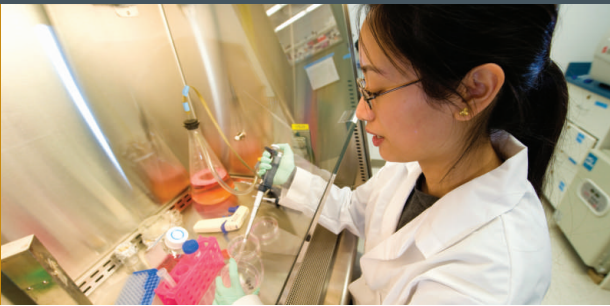
牛肉が世界レベルで評価される差別化要因となる優れた特徴に関する教育活動も行っています。

センターではカナダの牛肉を扱う利用者が、継続的な成功を達成できるよう支援します。カナダ国内外の利用者に対し、研修、牛肉製品の研究開発、宣伝・普及などのプロモーション活動、事業開発を支援するほか、それぞれのニーズに合わせてカスタマイズしたサービスやプログラムを提供しています。

動物の健康

カナダの動物は健康状態が優れているとされます。これはバイオセキュリティへの実践的な取り組みと、あらゆるレベルでのモニタリングの上に築かれた評価です。牧場からハイテクノロジーの研究所まで、獣医や政府の検査官によるモニタリングが行われています。生産者は牧場における食品衛生について研修を受けるほか、生産者・加工者ともに政府が定めた規則を順守しています。





アルバータ州では動物衛生法を制定していますが、その目的はアルバータ州の公衆衛生、動物の健康、食品の安全を強化し、動物の疾病抑制策を効果的に実施して市場へのアクセスを増やすことです。

動物衛生法は、動物の疾病が発生した際の抑制策、疾病の調査、トレーサビリティ、枝肉廃棄規定などを承認することによって、効果的かつ迅速に対応することを目指しています。また家畜市場の検査や免許、小売店での生産動物用医薬品の販売の管理に関する承認も行います。

食品安全

2001年、カナダは世界に先駆けて包括的な牛の個体識別制度を開始しました。こうした国の制度に続いてアルバータ州は2009年、動物健康法にもとづくトレーサビリティ規則を州として導入。国家的なトレーサビリティの枠組みを整備するため、業界とともに取り組んでいます。この枠組みは「牛の個体識別」「施設の識別」「牛の移動状況の追跡」の3項目を中心に構成されています。

カナダ、アルバータ州、肉用牛業界の3者がトレーサビリティの推進に取り組むことで、アルバータ州の肉用牛業界は、国内外の基準に適合するにとどまらず、それを超える動物の健康と食品安全を達成することが可能になっています。

トレーサビリティ制度

2001年、カナダは世界に先駆けて包括的な牛の個体識別制度を開始しました。こうした国の制度に続いてアルバータ州は2009年、動物健康法にもとづくトレーサビリティ規則を州として導入。国家的なトレーサビリティの枠組みを整備するため、業界とともに取り

組んでいます。この枠組みは「牛の個体識別」「施設の識別」「牛の移動状況の追跡」の3項目を中心に構成されています。

カナダ、アルバータ州、肉用牛業界の3者がトレーサビリティの推進に取り組むことで、アルバータ州の肉用牛業界は、国内外の基準に適合するにとどまらず、それを超える動物の健康と食品安全を達成することが可能になっています。

アルバータ州の牛肉を選ぶことの利点

カナダの牛肉加工の4分の3以上（230万頭）が、カナダ西部で行われており、その大部分がアルバータ州に集中しています。カナダ最大の牛肉加工場もアルバータ州にあります。

アルバータ州は、高品質な農産物や食品の生産地として高い信頼を得ています。輸出や加工に関しても、牛肉・子牛肉を世界中に輸出してきた長い経験があります。アルバータ州の食肉業界が目指すのは、安全で高品質の牛肉を安定的に供給することです。アルバータ州の加工場は、オーガニック、ハラール、ホルモン剤不使用など、個別仕様のご要望にも対応が可能です。

ビジネス環境がオープンであること、自然環境に恵まれていることが強みとなって、アルバータ州は一次産品や工業製品を大量に輸出しています。加えて道路、水運、航空、鉄道などの輸送網を包括的に活用することで、世界各地へ向けて、スピーディーかつ効率的に牛肉を出荷することが可能です。

アルバータ州政府 農務林産省
Website: www.agrifoodalberta.ca
Email: agrifoodexports@gov.ab.ca